

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果(広報用)

プログラム名	カリフォルニア夏季研修2018: 地域活性化の体験型学習と実践英語プログラム(基礎/応用)	
学部・研究科名	グローバル教育推進センター	
プログラム 実施期間	2018年8月30日 ~ 9月21日	
研修先(国・都市・施設名)	アメリカ カリフォルニア州 チコ市	
参加者数	25名	知の森からの支援者 : 13名
プログラム概要	交流協定校である、カリフォルニア州立大学チコ校と協同で企画・実施した3週間のプログラム。信州大学が社会から高い評価を得ている「地域貢献・地域活性化」を課題対照として取り上げ、地域に根ざした企業や農場の見学や専門家によるレクチャーによりカリフォルニアの地域産業を学び、グローバルな視点で問題解決にあたるための基礎力を養成するほか、細やかなレベル分けによる英語授業により語学力を高める。また、「基礎コース」では、派遣校で日本語を学ぶ学生との交流により異文化理解や国際感覚の習得を目指すほか、本年度新設の「応用コース」では、より高度な学習を望み要件を満たす学生にプロジェクト型研修の機会を与え、グローバル社会で貢献できる人材として求められる実践的スキルを養成する。	

実施状況・成果

- ・地域活性化に関して日本国内の事例を調べるなどの事前学習を行った後、現地の英語ネイティブの環境の中で、専門家からのレクチャーを受けまた現地校周辺の食品関連企業・農場等を見学することによって「地域活性化」を体験的に学習し、自文化・社会との相違点や共通点を見出し、ローカルとグローバル双方の視点を得て、地に足のついた課題発見力と問題解決力を養うことができた。前年度、レクチャーの内容理解に関して課題があったことから、本年度は事前に概要とキーワードを配布し、理解度を高める方策を実施した。内容や教員について、約7割が「満足」ないし「ほぼ満足」と回答。事前配布資料については約3割が「とても効果的だった」、約7割が「部分的に役立てられた」と回答し、事前資料があっても難しいと感じた一方、一定の効果はあったことが伺える。
- ・英語授業は研修校附属語学学校(ALCI)にて細かなレベル分け(7段階)により、参加者のレベルに合ったクラスに参加し、国際色豊かなクラスメイトとともに英語スキルを向上させることができた。クラスレベルは、リスニングで「6/7」が6名、「5」が12名、「3/4」が7名、スピーキングで「6/7」が3名、「5」が15名、「3/4」が7名。リスニングで7名が「A+」、9名が「A」、スピーキングで1名が「A+」、10名が「A」を獲得した。
- ・「基礎コース」では、現地学生向けの日本語授業に複数回に亘って参加し、現地学生とチームを組んで仮想旅行を設計する課題に取り組み発表する活動を通じて、英語に慣れ親しむことに加えて異文化理解を進められた点で参加者の得るものが大きかった。帰国後のアンケートでは、参加した18名中13名が「満足」、5名が「ほぼ満足」と全員肯定的に回答した。
- ・「応用コース」では、派遣先大学の農学部の授業に参加し、「食品産業」をテーマに現地学生と一緒に授業を受け、日本の食品産業について渡航前から調査し、研修中に現地校教員の指導の元にブラッシュアップした内容を現地学生の前で発表した。理解度に関するアンケート項目では「理解ができた」が4割にとどまった。「やはり現地学生の受けている授業は英語のスピードも速く、理解が難しかった」との声もあったが、内容や教員に対しては全員が肯定的に評価した。
- ・滞在はチコ市内の一般家庭へのホームステイであり、ホストファミリーとの日常的な会話に自然な英語表現を身につけることができた。「ホストファミリーは話をしっかり聞いてくれたので、片言でも上手く意思疎通し、会話を楽しむことが出来ました」との感想もあった。
- ・「今後の留学を考えていますか？」の質問には74.1%が「考えている」と答えており、今後の長期留学やグローバルレベルでのキャリア形成について具体的に考え、行動するきっかけとなったことが伺える。
- ・参加者は11月10日(土)に成果報告会を行い、英語で学修成果を発表した。また、相互評価表を用い、参加者同士が相互の学修成果を測った。成果報告会で研修を振り返ったことで気持ちを新たにした参加者も多く、「他の参加者から良い刺激を受けた」との声も多くあった。

学生の声①-農学部 学生

【基礎コース参加学生】この研修を通して、英語だけでなく、文化の違い、質問すること・挑戦することの大切さを学ぶことができた。何か新しいことを始めたり、慣れないことをするのは大変だけど、後悔しないように時間のある今の内になんでもやってみたいと思う。他の参加者も同様にこの研修が自分を見つめ直す良い機会になったと思う。アメリカに行く前は全く知らない人たちばかりだったが仲良くなれて良かった。

学生の声②-工学部 学生

【応用コース参加学生】応用コースで参加したAgriculture Businessの授業で、現地校の授業の雰囲気を知ることができたのでとても良い機会になった。特に、自分の考えを発表する場などで、自分の意見をしっかり持って発表することの重要性を実感でき、自信を持って発表できるようになったと思う。

現地学生とのグループディスカッション



修了式にて

